

教科(英語)

1. 家庭学習のやり方

予習

- ・新出単語・熟語を辞書を使って調べてくる。
- ・本文中の代名詞が何を表しているか、省略されている部分には何が省略されているかを考えてくる。
- ・ノートに本文の英語を書き、その和訳をできる限り自力で作ってくる。

復習

- ・授業を聴いて自分の訳を訂正した箇所を見直し、自分の訳が間違っていた原因を突き止める。
- 例 関係代名詞の省略に気づけなかった or 形式主語に気づけなかったための誤訳、、等。

2. 授業でのノートの取り方

- ・予習してきた和訳を授業を聞きながら赤ペンで添削する。
- ・先生が黒板に書いたことはもれなくノートに書き取り、テスト前にすぐ分かるようにしておく。

3. 試験勉強の仕方

- ・英語は暗記することが多いので、余裕を持って勉強を始めなければならない。
- ・単語・熟語・構文などはその部分だけでなく、英文で覚えることが望ましい。日本語から英語に出来るのが理想的。
- ・声に出して、何回もテスト範囲の本文を音読することによってかなり頭に入る。
- ・音読しながら、その文章を書くで一層効果的である。
- ・英語に限らず、声に出し、耳で聞き、手で書き、目で確認する(=体全体で覚える)と忘れない。

4. 受験勉強の仕方

(英語の苦手な人)

まず中学校レベルの基礎(不規則動詞の変化、人称代名詞、否定文・疑問文の作り方等)を定着させること。これらが完全でないのに受験勉強は始めても効果は期待できない。

(英語が苦手ではない人)

上記の内容がよくできる人は、5文型・不定詞・分詞・動名詞・関係詞・仮定法の安定的な知識を持つことが要求される。学校で使用している単語熟語集も積極的に覚えるようにする。

(英語が得意な人)

学校指定の参考書で5文型・不定詞・分詞・動名詞・関係詞・仮定法の例文にすでに精通している人は長文問題に取り組み、英文に慣れるようにするべきである。学校で使用している単語熟語集もその意味が言えるだけでなく、例文そのものを暗唱し、その同意語・反意語等も覚えるようにする。

(苦手な人、得意な人に共通する事項)

覚える内容・・・単語・熟語・構文・文法事項

必要な物・・・辞書、単語集(最低3000語)、熟語集(800)、構文集(100)、文法問題集(英作文を含む)長文問題集(必要に応じてリスニング教材)

その他 上記を覚えながら問題演習を行うための年間計画をたてる。特に長文読解力をつけるには時間がかかるので早めにスタートする必要がある。英語の他、歴史公民、国語、数学などやることは多い。

各教科とも年間計画をたてたら月間計画、それから1日の日程を決める。

暗記事項は夏休み前には一通り頭に入れておき、夏休みからは問題演習ができるとうい。初級編から中級編、上級編とグレードアップしてゆく。暗記事項は反復復習しないと忘れるので、毎日少しずつ復習することも心がけたい。